

第47回「ごはん・お米とわたし」

作文・図画コンクール募集要領



第46回 図画部門 岩手県知事賞
「ババの育苗 ～小鳥にいたずらされないように～」
一関市立滝沢小学校 5年 千葉 心遥さん

- | | |
|-----|---|
| 主 催 | 岩手県内各ＪＡ、ＪＡ岩手県中央会 |
| 後 援 | 岩手県、岩手県教育委員会
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会
一般社団法人家の光協会東日本普及文化局
株式会社日本農業新聞東北支所、ＪＡ岩手県信連
ＪＡ岩手県厚生連、ＪＡ全農いわて、ＪＡ共済連岩手 |

第46回 作文部門 岩手県知事賞

「田んぼの一年」

一関市立藤沢小学校 6年 玉澤 歩風乃さん

春。まだまだ寒い春の田んぼは、どろどろの土で、田んぼというより畑みたい。しばらくたつと、水が張られて湖のようにきらきら輝く。その後、苗が植ええられる。その様子は、湖のようせいのように。でも、湖のようせいが見られるのは、ほんの少しの間だけ。すぐに、苗は、五月の桜の葉のような美しい緑になる。

夏。きらぎらの太陽の下にセミの鳴き声が聞こえる夏の田んぼ。風にふかれて、長くなった稲がゆれる。大きい水田の場合だと、風にふかれた稲が同じ方向に重なって、おもしろい。そのうち、稲につぶつぶができてくる。このつぶつぶの正体は、米。白米しか見たことがない人が見たら、「本当にお米なの」って、なると思うけれど、これは未来のお米。

秋。すすしい秋の田んぼは、緑と黄金が混じっている。米の部分は、黄金色。その下は、緑色。この稲を年で言ったら、五十九才かな。人間で言ったら、もうすぐでおじいさん、おばあさんになりますよ、と言う所。だんだん稲が黄金色になって、田んぼは、平泉にある金色堂みたいにきらきら輝いているように見える。岩手の田んぼも世界遺産に登録してほしい。私は、それくらい秋の田んぼが大好き。冬。稲をかりとられてしまつて、さみしそうで、寒そう。田んぼは、豊作の秋の田んぼと同じ物とは思えない。雪が降るまでは、静かでさびしい田んぼだ。雪が降ると、田

んぼは、真っ白な世界。田んぼを雪かきする人なんて、あんまりいないし、雪の積もった田んぼの上をわざわざ歩く人もいない。皆の知っている田んぼとは、少し違うかもしれないけれど、これも田んぼを見る時の一つの楽しみかと思つた。

こんな感じに、田んぼは、一年中日に日に変化している。良く考えてみれば、田んぼの一年は、人間の一生のようだ。田んぼも人間も変化している。例えば、人間は背が伸びる。田んぼも稲が伸びる。人間も田んぼも同じよう。私は、雪の積もっていない時の、冬の田んぼは、好きじゃない。静かで元気がなくて、とつてもさびしそう。だから、好きじゃない。そんな時は、大好きな塩むすびを食べながら、「こうしておいしい塩むすびを食べられるのは、この田んぼが今あるからなんだ。」って、考えたら冬の田んぼだつて、決してさびしい物じゃないと思えるような気がした。

もうすぐ、秋がやって来る。今年も、私が一年で一番大好きな田んぼの風景がやってくる。黄金色で、沢山の米を実らせた宝庫。宝庫が見られるのは、水田がこんなに身近にある岩手に住んでいるからだ。都会のおばあちゃんの家に行つた時、水田は、一つも見なかった。都会って、何でもあつてたけれど、田舎にしかない物もあるんだな。お米って、おいしいけれど、その時、その時の風景が見る事のできる田んぼもいいよね。

目 次

岩手県コンクール募集要領・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

全 国コンクール募集要領・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

個人作品貼付用応募票（切り取り）・・・・・・・・ 7

応募者一覧表（切り取り）・・・・・・・・・・・・ 9

第47回「ごはん・お米とわたし」作文・図画

岩 手 県 コ ン ク ー ル 募 集 要 領

【趣旨】

このコンクールは、JAグループがすすめる「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、これからの食・農・地域を担う次世代の子どもたちに、お米・ごはん食、日本の食卓と国土を豊かに作りあげてきた稲作をはじめとする農業についての学びを深めてもらうとともに、子どもたちの優れた作品を顕彰することを通じて、稲作農業の多面的機能と、お米・ごはん食・日本食の重要性を広く周知することを目的に実施いたします。

【課題】（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食についての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してください。

【主催】

岩 手 県 内 J A
J A 岩 手 県 中 央 会

【後援】

岩 手 県
いわてのお米ブランド化生産販売戦略推進協議会
株式会社日本農業新聞東北支所
J A 岩 手 県 厚 生 連
J A 共 済 連 岩 手

岩 手 県 教 育 委 員 会
一般社団法人家の光協会東日本普及文化局
J A 岩 手 県 信 連
J A 全 農 い わ て

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】（枚数・大きさ）

●作文部門

1 部：小学校1年生～3年生

（400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内）

2 部：小学校4年生～6年生（400字詰め原稿用紙3枚以内）

3 部：中学校1年生～3年生（400字詰め原稿用紙4枚以内）

（注）作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください）。

（注）本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

●図画部門

1 部：小学校1年生～3年生

2 部：小学校4年生～6年生

3 部：中学校1年生～3年生

B3判（364×515ミリ）、もしくは四つ切り（380×540ミリ）の市販画用紙を使用。

画材は特に制限しません。（注）地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

- （1）作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。
- （2）他のコンテストに応募していない作品に限ります。
- （3）応募は、ひとり1部門1点です。
- （4）図画作品でポスター形式（標語・キャップフレーズ文字の入ったもの）のものは応募できません。
- （5）学校で応募の際は、別添の応募者一覧表（9ページ）を必ず添付してください。記載例は（10ページ）です。校内で選定した際は、全応募総数を記入してください。

- (6) 作品には、1点ごとに必要事項を記入した応募票(7ページ)をつけてください。
つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします。(貼り付け見本参照)
- (7) 作品は、県コンクールの審査・表彰式終了後の令和5年2月下旬頃、J Aを通じて返却します。ただし、J Aでその後に作品を展示する場合がありますので、個人への返却が遅れる場合があることをご了解ください。
- (8) 作品の出版、放送に関する権利は、J A岩手県中央会に帰属します。入賞発表や表彰式、主催者の広報媒体(作品集、次年度の募集要領、ホームページ、テレビ、新聞等)への露出や作品展示などの広報活動、諸事業活動で使用いたします。上位入賞者につきましては顔写真を提供していただきます。ご了解の上、ご応募ください。
- (9) 応募に際して提供された個人情報、承諾なく第三者に提供しません。

【締切日】

※応募とりまとめJ Aを経由してご応募ください。
※県事務局の〆切は下記のとおりですが、とりまとめJ Aの〆切は文書をご確認ください。
※県事務局への応募は、令和4年9月2日(金) 必着

【審査委員】

総合委員 小 岩 和 彦 氏(元岩手大学教職大学院特命教授)
 専門委員 佐々木 俊 江 氏(盛岡市下橋中学校指導教諭)
 専門委員 山 下 るり子 氏(盛岡市教育委員会学校教育課指導主事)
 他、岩手県農林水産部、一般社団法人家の光協会東日本普及文化局、
 株式会社日本農業新聞東北支所、J A岩手県中央会、J A岩手県信連、
 J A岩手県厚生連、J A全農いわて、J A共済連岩手

【審査会】第1次審査会…全国コンクールへ推薦する作品を選定

第2次審査会…本県コンクールの各賞入賞作品を選定

【賞】(予定)

- | | |
|----------------------|------------------------------|
| ・岩手県知事賞 | ・岩手県教育委員会教育長賞 |
| 作文・図画部門各1名 計2名 | 作文・図画部門各1名 計2名 |
| 賞状と副賞 | 賞状と副賞 |
| ・(一社)家の光協会東日本普及文化局長賞 | ・(株)日本農業新聞東北支所長賞 |
| 作文・図画部門各1名 計2名 | 作文・図画部門各1名 計2名 |
| 賞状と副賞 | 賞状と副賞 |
| ・J A岩手県五連会長賞 | ・優秀賞 |
| 作文・図画部門各1名 計2名 | 作文・図画部門 若干名 |
| 賞状と副賞 | 賞状と副賞 |
| ・学校奨励賞 | ・佳作 |
| 作文・図画部門各1校 計2校 | 作文・図画部門 若干名 |
| 賞状と副賞 | 賞状と記念品 |

※応募者全員に参加賞を贈呈する(9ページの一覧表に氏名を記載した応募者のみ)

【入賞発表】

全国コンクール : 令和4年12月上旬

岩手県コンクール : 令和4年12月中旬

(応募取りまとめJ Aを経由して、入賞校、入賞者宛に通知します)

【作品展示】

上位入賞作品については、盛岡市内の商業施設等で展示を予定。

期間: 令和5年1月中旬～2月上旬に1～2週間程度。

●送り先および問い合わせ先

最寄りのJ Aを経由して

〒020-0022 盛岡市大通り1-2-1 産業会館内 J A岩手県中央会 J A支援部
 「ごはん・お米とわたし」作文・図画コンクール係まで
 TEL: 019-626-8519 FAX: 019-623-6117
 E-mail: kouhou@jaiwate.or.jp

第47回「ごはん・お米とわたし」作文・図画全国コンクール募集要領

【課題】(作文・図画両部門共通)

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、お米・ごはん食に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現して下さい。

【応募資格】

小学校および中学校に在籍する児童・生徒。

特別支援学校の小学部、中学部に在籍する児童・生徒。

【応募規格】(枚数・大きさ)

●作文部門

1部 小学校1年生～3年生

(400字詰め原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800字以内)

2部 小学校4年生～6年生

(400字詰め原稿用紙3枚以内)

3部 中学校1年生～3年生

(400字詰め原稿用紙4枚以内)

●図画部門

1部 小学校1年生～3年生

2部 小学校4年生～6年生

3部 中学校1年生～3年生

B3判(364×515ミリ)、もしくは四つ切り(380×540ミリ)の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。

(注) 地域によって多少サイズは異なります。

【応募規則】

(1) 作品には、1点ごとに次の事項を記入した応募票(7ページ)をつけてください。つける位置は最後のページの裏面、図画は裏面中央とします(貼り付け見本参照)。①作品の題名②氏名③学校名・学年・組④学校の所在地(郵便番号・電話番号)⑤J A名

(2) 作文用紙1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください(学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出してください)。

(3) 作文は本人による直筆を原則とし、パソコンなどにより作成した原稿は応募不可とします。

ただし、視覚・手に障害のある児童・生徒については、その旨を特記事項として応募票の欄外に記述した場合のみ、パソコンなどで作成した原稿の応募を認めます。

(4) 作文・図画とも課題にそった作品を対象とします。

(5) 応募は本人の未発表でオリジナルの作品に限ります。また、他のコンテストに応募していない作品に限ります。他人の写真や作品を模写・模倣したものは応募できません。著作権、商標権、肖像権など、他者の権利を侵害する作品は応募できません。

(6) ひとりで1部門に2点以上の応募はできません。

(7) 合作は応募できません。

(8) 図画作品でスローガンや文字を入れたポスター的なものや台紙に貼ったものは応募できません。

(9) 学校で応募の際は、別添の名簿(9ページ)を必ず添付してください。

(10) 作品に応募することによって、応募作品をJ Aグループ(後援協賛団体を含む)の広報活動および諸事業活動のために利用することに予め承諾したものとします。その際、作文の部分的な抜き出しや、図画のサイズの変更・トリミングなど一部改変させていただく場合があります。印刷等の都合上、実際の作品と色が多少異なる場合がございます。

(11) 記入いただいた個人情報は、入賞通知・発表や表彰式などのほか、県名、学校名、学年、氏名等の一部情報についてはプレスリリース等のメディアへの発表、J Aグループ(後援協賛団体を含む)の広報媒体(入賞作品集やホームページ等)への露出や作品展示などの広報活動および諸事業活動で公表・使用することがあります。上記および、法令等により開示を求められた場合を除き、承諾なくコンクール関係者以外の第三者に個人情報を提供することはありません。

(12) 作品に応募することによって、上記の個人情報の使用に承諾したものとします。

(13) 入賞通知後でも、当該入賞作品がすでに発表済みやオリジナルでない作品と判明した場合、応募規則への違反や、虚偽の報告が判明した場合は受賞を取り消します。

【締切日】

岩手県締切日 令和4年9月2日(金) 必着

※全国審査応募は、10月27日午前中全国事務局作品係必着

【審査委員】

作文部門審査委員長 中村 靖彦 氏

(東京農業大学客員教授)

作文部門 設楽 敬一 氏

((公社)全国学校図書館協議会理事
長)
竹村 和子 氏
((公社)全国学校図書館協議会常務理
事・事務局長)
堀米 薫 氏
(児童文学作家、(一社)日本児童文芸
家協会理事)
真鍋 和子 氏
(児童文学作家、(一社)日本児童文芸
家協会評議員)

図画部門審査委員長

尾木 直樹 氏
(教育評論家、法政大学名誉教授、臨
床教育研究所「虹」所長)
図 画 部 門 岡田 円治 氏
(元株式会社 NHK アート代表取締役社
長、日本美術家連盟準会員)
岡村 泰成 氏
(美術家集団「Moss Spirits」代表、
日本美術家連盟会員)
小柳津 須看枝 氏
(日本美術家連盟会員)
西巻 茅子 氏
(絵本作家)
東良 雅人 氏
(元文部科学省初等中等教育局視学官、
京都市教育委員会総合教育センター副
所長)

【賞】

- (1) 内閣総理大臣賞
作文・図画部門各 1 名——— 計 2 名
賞状と副賞 (記念盾及びお米券、記念メダル)
- (2) 文部科学大臣賞
各部門各部門ごとに 1 名——— 計 6 名
賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)
- (3) 農林水産大臣賞
各部門各部門ごとに 1 名——— 計 6 名
賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)

- (4) 全国農業協同組合中央会会長賞
各部門各部門ごとに 1 名——— 計 6 名
賞状と副賞 (お米券及び記念メダル)
- (5) 優秀賞
各部門各部門ごとに 15 名 ——— 計 90 名
賞状と副賞 (記念メダル)
- (6) 学校奨励賞
内閣総理大臣・文部科学大臣・農林水産大臣
各賞受賞者所属校——— 計 14 校
賞状

【入 賞 発 表】

審査会終了後、入賞校、入賞者へ主催者より通
知します。新聞などメディアへの発表は、令和
4 年 12 月上旬を予定しています。

【主催・後援・協賛】

●主催

農業協同組合／都道府県農業協同組合中央会
／全国農業協同組合中央会

●後援 (予定)

内閣府／文部科学省／農林水産省／全国都道府県教育
委員会連合会／全国市町村教育委員会連合会／日本放
送協会 (NHK)／全国連合小学校長会／全日本中学
校長会／(公社)全国学校図書館協議会／(公社)日本 P
T A 全国協議会／(公社)米穀安定供給確保支援機構

●協賛

全国農業協同組合連合会／全国共済農業協同組合
連合会／農林中央金庫／全国厚生農業協同組合連合
会／(株)日本農業新聞／(一社)家の光協会／(一社)
全国農協観光協会

【送り先および問い合わせ先】

最寄りの農業協同組合「作文・図画コンクール」係もしくは
都道府県農業協同組合中央会「作文・図画コンクール」県事務局 (2 階) へ

審査基準は以下のとおりです。応募の際にはご注意ください。

作文部門審査基準

“上手な作文”よりも下記の点で“よい作文”を評価する。

1. 課題に沿った作品であること。
2. ごはん・お米に関わる事柄や問題点を、年齢相応に正しく理解しており、かつ、年齢相応の言葉で表現していること（子どもはよく難しい言葉を使いたがるが、年齢に馴染まないものは、好ましくない）。
3. 問題のとらえ方や、考え方が素直であり、かつ自分の意見・感想を率直に述べていること。
4. 自分の生活経験がにじみ出ていること（抽象的、一般的なことのみに終始するものは好ましくない）。
5. 作品全体に希望や明るさが感じられること。
6. 規定の枚数であること。
7. 誤字、脱字がなく、その他の表記（かぎカッコや句読点など）も正確であること（誤字、脱字、添削跡などについては減点の対象になります。必要に応じて、本人に差し戻し、清書させてください）。
8. 作文用紙は1枚目の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出す（学校名、学年、氏名が3行になる場合は4行目から本文を書き出す）。

図画部門審査基準

<主題のとらえ方について>

1. 子どもらしい発想を尊重する。子どもは時流に敏感なので、のびのびした明るく楽しいアイデアがあるものがよい。
2. 理解させるためディスカッションすること。
3. 宿題的な押しつけで描かせないこと。

<基準について>

(次のようなものは審査の対象外になります)

1. ごはん及びお米を主題としていないもの。
2. スローガンや文字を入れたポスター的なもの。
3. おとぎ話や童話をモチーフにしたもの。
4. 漫画やアニメなどのキャラクターを挿入したもの。
5. おむすびやお米に顔や手・足の出ているもの（擬人化したもの）
および実在しないもの（空想やファンタジー性のあるもの）。
6. 石、木片などを貼りつけたもの。
7. 紙の寸法が極端に大きかったり小さいもの。
8. 紙がボール紙のように厚かったり、半紙のように薄いもの。
9. 台紙に貼って応募したもの。
10. メーカー名や企業名、ロゴマークなどを使用したもの、
および宣伝になる恐れがあるもの。
11. パソコンなどでデジタル的に描かれたもの。

ただし、キャンバスボードに油絵で描いたもの、あるいは石版画、シルクスクリーン、木版、スクラッチボードなどを利用したものは基準内として審査対象とします。

また、いわゆる「切り絵」や「貼り絵」についても審査対象とします。

個人作品貼付用 応募票

作品番号	都道府県コード	作品番号	部門
			作文・図画
作品の題名			
フリガナ			
氏名			
フリガナ			学 年
学校名	学校	年	組
フリガナ			
学校所在地			
電話番号			
JA 名			

- (注) 1. 必要事項を記入の上、作文は最後のページ中央、図画は作品裏面中央に 下図のりしろ”部分のみ貼付(のり付け)してください。
 (太い枠で囲まれた部分は必ずご記入ください)
2. コピーして作品に貼付してください。
3. 都道府県コード、作品番号は記入不要です。(県段階で記入します)

【貼付見本】

<p style="text-align: center;">裏面</p> <p style="text-align: center;">(作文は最後のページ)</p> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p style="text-align: center;">のりしろ</p> </div> <p style="text-align: center;">応募票</p> </div>

応 募 者 一 覧 表

学校名： _____ 小・中学校

連絡先： _____ ご担当者名： _____

扱いJ A名 (J A)

	作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

※上記の児童・生徒を応募するにあたり、校内で選定した場合は、全応募総数を記入してください。

全応募総数 _____ 点

応 募 者 一 覧 表 (記載例)

学校名 ○○市立 ○○○ ⑩・中学校

連絡先： ○○○-○○○-○○○○ ご担当者名： ○○ ○○

扱い J A 名 (J A○○○)

	作文・図画 部門・部別	学年	氏 名	フリガナ
1	図画 1 部	2 年	岩 手 太 郎	イワテ タロウ
2	作文 2 部	4 年	盛 岡 花 子	モリオカ ハナコ

このコンクールは、岩手県コンクールと全国コンクールの2段階制とします。

岩手県コンクールに応募いただいた作品の中から、優秀な作品を全国コンクールに推薦します。（岩手県コンクールを経由しない作品は全国コンクールに応募できません。）

